

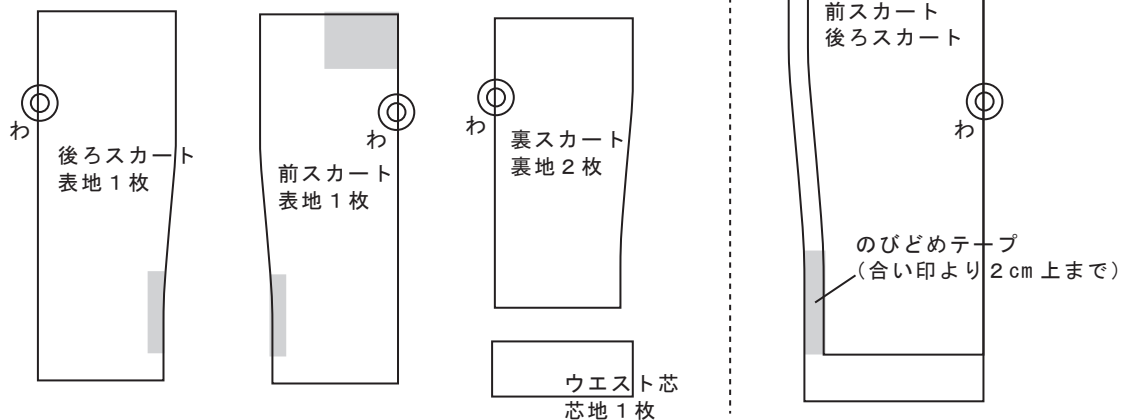


用意するもの

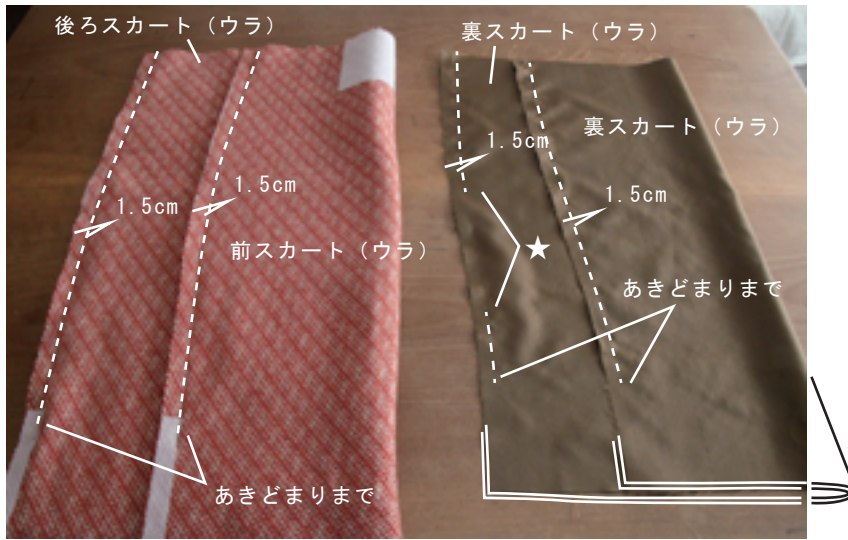
- 布帛生地
ウールやコットンなど、ボトムに適した素材
表地 110cm巾 S(0.7m)・M(0.8m)・L(1.6m) Lサイズは生地巾に入らないため×2倍必要になります。
裏地 110cm巾 S(0.7m)・M(0.8m)・L(1.6m) ですが、生地巾が90cmの場合は、S(1.4m)・M(1.6m) L(1.8m)
- のびどめテープ (15mm巾)
約1m
- 接着芯
少々

準備

- 裁断パーツ3・合計4枚(下図)
- 前スカートのウエストと前後スカートスリットに接着芯(右図)
- 前スカートステッチ止め位置に印をしておく(右図)



脇縫い

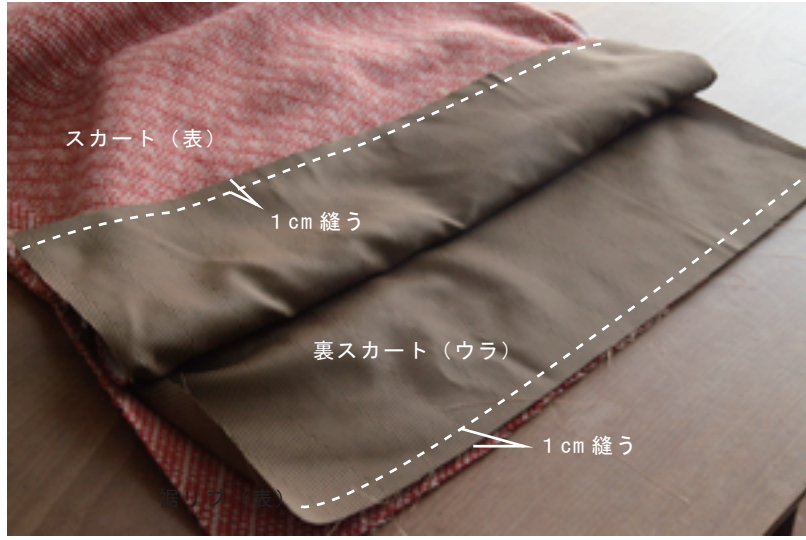


表スカート・裏スカート、それぞれ脇を中表に合わせて、1.5cmで、あきどまりまで縫い合わせます。裏地の片方は15cm程度の返し口を残して縫い合わせます。



縫い代はあきどまりまでアイロンで割ります。

裾

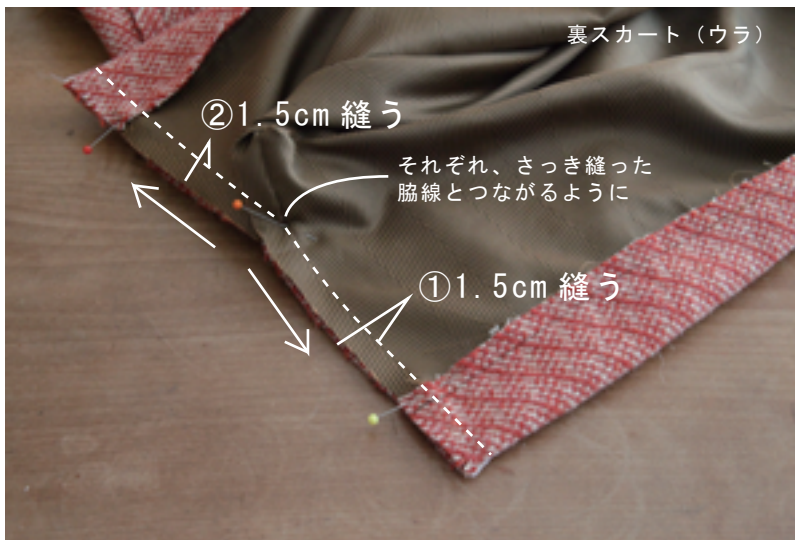


筒状になった表スカートと裏スカートを、中表に合わせて、裾の部分を1cmで縫い合わせます。

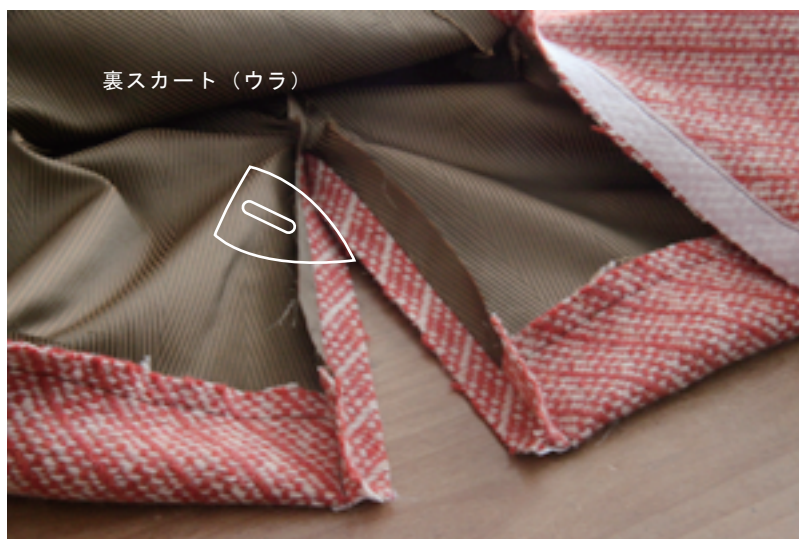


縫えた状態。ここからできあがり線で中表に合わせ、スリット部分を縫います。

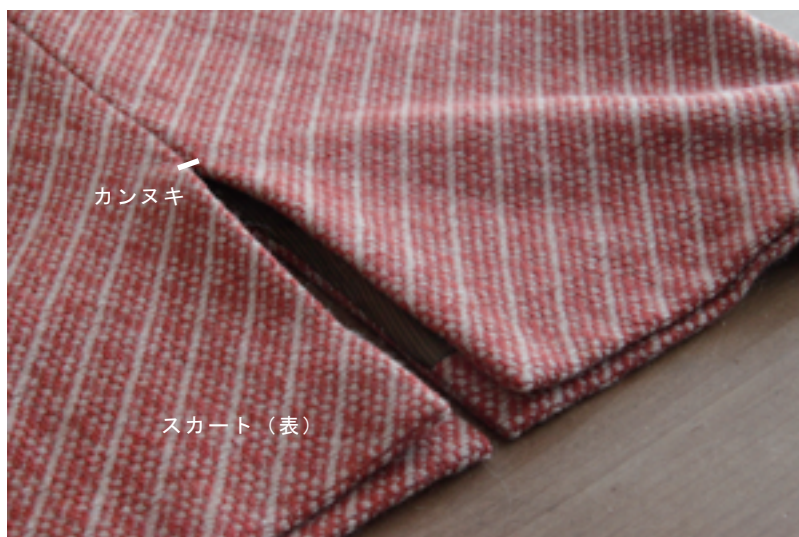
スリット縫い



スリット部分はあきどまりから裾に向かってそれぞれ1本ずつ、合計4本縫います。



縫い代はアイロンで割ります。



スリットの切れ目に、ミシンで何度かステッチを往復させ、カンヌキ止めを入れます。(左右とも)

ウエスト
縫い合わせ



裏地の返し口から手を入れて、ウエストの脇の縫い代を、表裏一緒に中表につまみます。



そのまま返し口から引き出し、つまんだ部分をピンでしっかり止めておきます。



返し口から全体を引き出します。ピンは固定したままでそこを基点に、裏地と表地のウエスト部分を中表に合わせて、ぐるっと一周 1 cm で縫い合わせます。



縫い合わせはねじれていきますが、縫えなくなることはなく、1周します。



表に戻します。きせなどがかかっていない、すっきりとした裏面の仕上がりです。
(ゆとりがあるスカートのため、これでOKです)

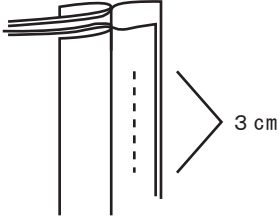
中とじ



再び返し口から手を入れて、反対側の脇の縫い代を、表裏とも引き出します。



表地と裏地の縫い代を1枚ずつ中表に重ねてそこにステッチ



引き出した縫い代の、合い印を合わせて、そのあたりを3 cm 程の長さでミシン。



表に戻します。

ゴムを通す

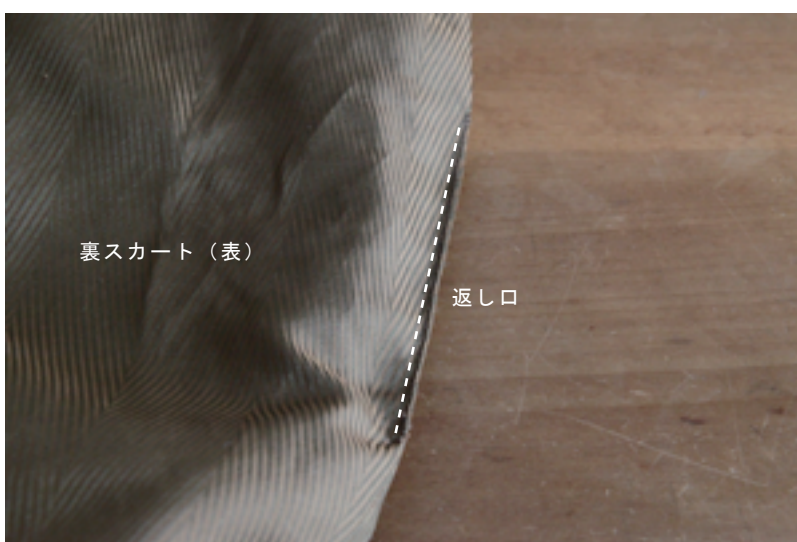
ゴムの端は手さぐりになりますので慎重に



ゴムを通します。返し口から入り、前ウエストに入って逆側までぐるっと通します。前スカートのステッチ位置の1 cm 手前にゴムの端がきたら、ピンでとめておきます。



もう一方も同じようにステッチ位置の1 cm 内側までゴムの先がきたら、ゴムをステッチでとめます。



返し口の布をつまんで、コバステッチでふさいで完成です。